

花いけ 素早く美しく



初優勝した第一学院高新潟キャンパス＝新潟市中央区

全国高校生「バトル」

本県初上信越大会 第一学院高V

高校生が5分以内に即興で花を生け、みずみずしい感性を競い合う「第6回全国高校生花いけバトル上信越大会2022」が、新潟市中央区の県民会館で開かれた。第一学院高新潟キャンパス(同区)が初優勝

し、来年1月に高松市で開催される全国大会に進む。次世代につなぐ日本の花文化推進協議会が主催。8月下旬に本県で初開催され、県内2校と石川、長野県各1校から計11組が出場した。生徒らは2人1組で

5分間の花生けに挑み、事前に用意された70種以上の花材と、大きささまざまな花器を巧みに組み合わせ、現力を競った。

優勝した第一学院高2年、星亜美璃さんと川沼純子さんの作品は、バラやヒ

マワリ、県産のユリなどを

彩り豊かに取り入れた。そ

れぞれの花材の長さや位置

を計算しながら、最後まで

丁寧に仕上げたことが評価

された。

星さんは「初心者だった

が、今大会のために練習を

積んできた。自分たちの好

きなように花を生けること

ができて、優勝できてうれし

い」と話した。川沼さんは

「全国に向け、よりレベル

アップして頑張りたい」と

意気込みを語った。